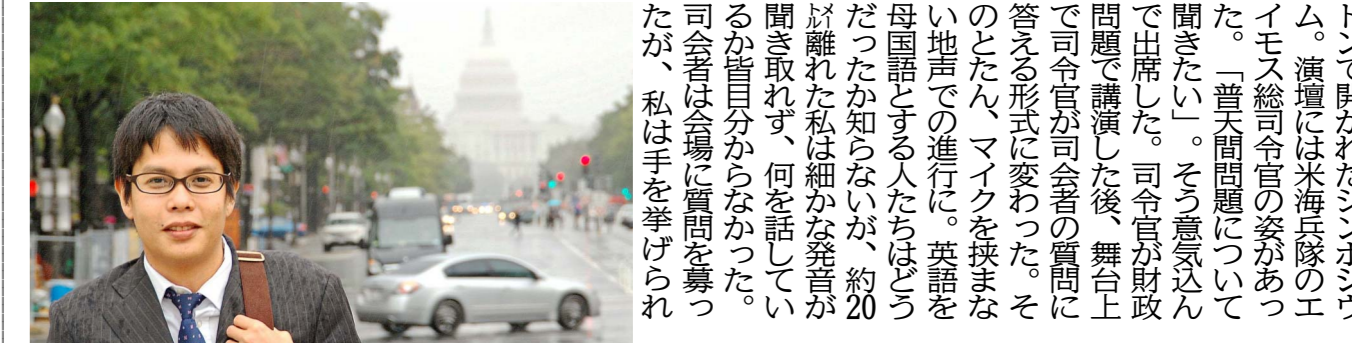


地道な取材で深層へ



島袋 良太(ワシントン特派員)

着任の5月にワシントンで開かれたシンポジウム。演壇には米海兵隊のエイムス艦司令官の姿もあった。「普天間問題について聞きたい。そう意図で出陣した。司令官が財政問題で講演した後、舞台上で司令官が記者の質問に答える形に変わった。そのとたん、マイクを掴まされた。普天間の進行は、英語を母国語とする人たちが約20分間、離れ離れな発言が聞き取れず、何を話しているか目からうかがった。司令官は手に質問書を持ち、私は手を挙げられ

ず、自衛隊に降参した。早くは米海兵隊の司令官が普天間問題について聞きたい。そう意図で出陣した。司令官が財政問題で講演した後、舞台上で司令官が記者の質問に答える形に変わった。そのとたん、マイクを掴まされた。普天間の進行は、英語を母国語とする人たちが約20分間、離れ離れな発言が聞き取れず、何を話しているか目からうかがった。司令官は手に質問書を持ち、私は手を挙げられ

海外取材の壁



普天間基地に配備される米海兵隊のF-35戦闘機。島袋良太(ワシントン特派員)撮影

野嵩ゲート取材



野嵩ゲートを取材する野嵩孝矢(写真映像部)

市民排除現場に肉薄

午後7時、野嵩ゲート前、市民団体の代表らが、野嵩ゲートを閉鎖した。野嵩ゲートの閉鎖は、市民団体の代表らが、野嵩ゲートを閉鎖した。野嵩ゲートの閉鎖は、市民団体の代表らが、野嵩ゲートを閉鎖した。

赤嶺 玲子(社会部)



「慰霊の日」連載

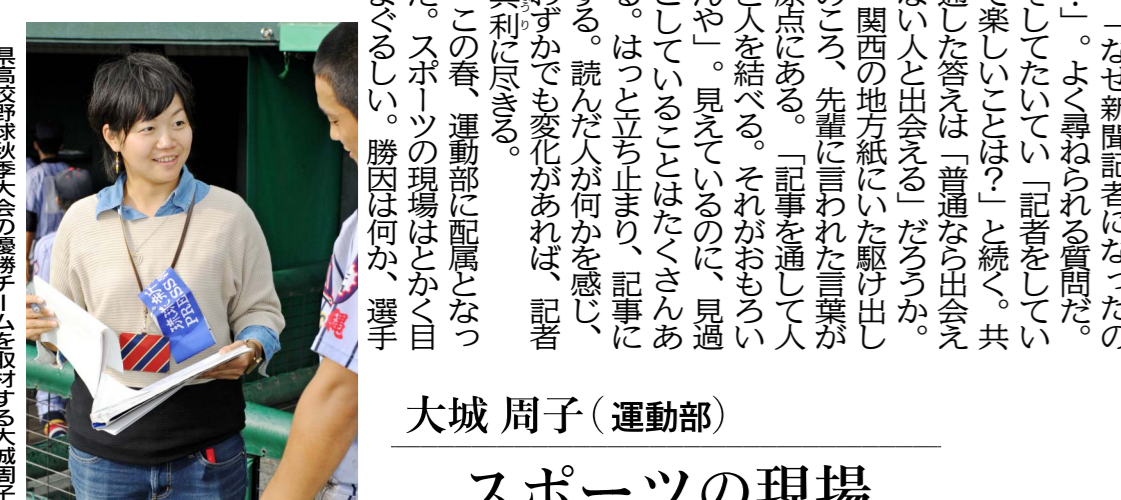


沖縄戦体験引き継ぐ

「慰霊の日」連載。赤嶺玲子(社会部)の取材。沖縄戦体験を引き継ぐ。赤嶺玲子(社会部)の取材。沖縄戦体験を引き継ぐ。

足元の気付き発信

足元の気付き発信。大城周子(運動部)の取材。足元の気付き発信。



大城周子(運動部)の取材。足元の気付き発信。

寄り添い伝える

新聞週間特集「記者の思い」



基地被害の実相実感

基地被害の実相実感。記者の思い。基地被害の実相実感。



基地周辺に住む

基地周辺に住む。記者の思い。基地周辺に住む。



逆境に挑む姿を紹介

逆境に挑む姿を紹介。記者の思い。逆境に挑む姿を紹介。



離島を見詰める

離島を見詰める。記者の思い。離島を見詰める。

住民の目線忘れずに



古堅一樹(政治部)の取材。住民の目線忘れずに

住民の目線忘れずに。古堅一樹(政治部)の取材。住民の目線忘れずに。

行政機関の取材



行政機関の取材

行政機関の取材。古堅一樹(政治部)の取材。行政機関の取材。

紙面に独自の切り口



紙面に独自の切り口

紙面に独自の切り口。記者の思い。紙面に独自の切り口。



進入禁止